平成24年第4回大仙市議会定例会会議録第4号

平成24年12月18日（火曜日）

議事日程第4号

平成24年12月18日（火曜日）午前10時開議

- 第 1 議長報告
- ・大仙市議会「市政懇談会」における市行政に対する要望・提言等に対する回答
 - ・平成24年度定期監査（前期）報告書
- 第 2 報告第 7号
- 専決処分報告について（平成24年度大仙市一般会計補正予算（第5号））（総務民生委員長報告・質疑・討論・表決）
- 第 3 議案第175号
- 大仙市廃棄物の処理及び清掃に関する条例の一部を改正する条例の制定について
- （総務民生委員長報告・質疑・討論・表決）
- 第 4 議案第188号
- 上淀川エコ対策コミュニティセンターの指定管理者の指定について
- （総務民生委員長報告・質疑・討論・表決）
- 第 5 議案第189号
- 太田北部墓園の指定管理者の指定について
- （総務民生委員長報告・質疑・討論・表決）
- 第 6 議案第190号
- 太田東部墓園の指定管理者の指定について
- （総務民生委員長報告・質疑・討論・表決）
- 第 7 議案第176号
- 大仙市移動通信用鉄塔設置条例の一部を改正する条例の制定について
- （企画産業委員長報告・質疑・討論・表決）
- 第 8 議案第177号
- 大仙市南外多目的集会施設設置条例の一部を改正する条例の制定について
- （企画産業委員長報告・質疑・討論・表決）
- 第 9 議案第178号
- 大仙市営土地改良事業の経費の賦課徴収に関する条例の一部を改正する条例の制定について
- （企画産業委員長報告・質疑・討論・表決）
- 第10 議案第191号
- 大仙市まほろば唐松中世の館等の指定管理者の指定について
- （企画産業委員長報告・質疑・討論・表決）

- 第 1 1 議案第 1 7 9 号 大仙市立学校設置条例の一部を改正する条例の制定について
(教育福祉委員長報告・質疑・討論・表決)
- 第 1 2 議案第 1 8 7 号 大仙市立保育所設置条例を廃止する条例の制定について
(教育福祉委員長報告・質疑・討論・表決)
- 第 1 3 議案第 1 9 2 号 刈和野地区コミュニティセンターの指定管理者の指定について
(教育福祉委員長報告・質疑・討論・表決)
- 第 1 4 議案第 1 9 3 号 大仙市小杉山地区生涯学習センターの指定管理者の指定について
(教育福祉委員長報告・質疑・討論・表決)
- 第 1 5 議案第 1 9 4 号 神岡中央公園屋内多目的施設等の指定管理者の指定について
(教育福祉委員長報告・質疑・討論・表決)
- 第 1 6 議案第 1 9 5 号 玉川荘の指定管理者の指定について
(教育福祉委員長報告・質疑・討論・表決)
- 第 1 7 議案第 1 9 6 号 大仙市西仙北高齢者ふれあいセンターの指定管理者の指定について
(教育福祉委員長報告・質疑・討論・表決)
- 第 1 8 議案第 1 9 7 号 水沢世代交流福祉館の指定管理者の指定について
(教育福祉委員長報告・質疑・討論・表決)
- 第 1 9 議案第 1 9 8 号 小種世代交流福祉館の指定管理者の指定について
(教育福祉委員長報告・質疑・討論・表決)
- 第 2 0 議案第 1 9 9 号 中淀川世代交流福祉館の指定管理者の指定について
(教育福祉委員長報告・質疑・討論・表決)
- 第 2 1 議案第 2 0 0 号 荒川福祉会館の指定管理者の指定について
(教育福祉委員長報告・質疑・討論・表決)
- 第 2 2 議案第 2 0 1 号 沢内高齢者健康増進ふれあい館の指定管理者の指定について
(教育福祉委員長報告・質疑・討論・表決)
- 第 2 3 議案第 1 8 0 号 大仙市営住宅条例の一部を改正する条例の制定について
(建設水道副委員長報告・質疑・討論・表決)
- 第 2 4 議案第 1 8 1 号 大仙市営住宅等の整備基準を定める条例の制定について
(建設水道副委員長報告・質疑・討論・表決)
- 第 2 5 議案第 1 8 2 号 大仙市市道の構造の技術的基準等を定める条例の制定について
(建設水道副委員長報告・質疑・討論・表決)

- 第 2 6 議案第 1 8 3 号 大仙市準用河川に係る河川管理施設等の構造の技術的基準を定める条例の制定について
(建設水道副委員長報告・質疑・討論・表決)
- 第 2 7 議案第 1 8 4 号 大仙市都市公園の設置に関する基準等を定める条例の制定について (建設水道副委員長報告・質疑・討論・表決)
- 第 2 8 議案第 1 8 5 号 大仙市布設工事監督者の配置基準及び資格基準並びに水道技術管理者の資格基準に関する条例の制定について
(建設水道副委員長報告・質疑・討論・表決)
- 第 2 9 議案第 1 8 6 号 大仙市公共下水道の構造の技術上の基準等に関する条例の制定について (建設水道副委員長報告・質疑・討論・表決)
- 第 3 0 議案第 2 1 4 号 大仙市低炭素建築物新築等計画認定等手数料条例の制定について (建設水道副委員長報告・質疑・討論・表決)
- 第 3 1 議案第 2 0 2 号 神岡中央公園等の指定管理者の指定について
(建設水道副委員長報告・質疑・討論・表決)
- 第 3 2 議案第 2 0 3 号 平成 2 4 年度大仙市農業集落排水事業特別会計への繰入額の変更について (建設水道副委員長報告・質疑・討論・表決)
- 第 3 3 議案第 2 0 4 号 平成 2 4 年度大仙市一般会計補正予算 (第 6 号)
(各常任委員長等報告・質疑・討論・表決)
- 第 3 4 議案第 2 1 5 号 平成 2 4 年度大仙市一般会計補正予算 (第 7 号)
(各常任委員長報告・質疑・討論・表決)
- 第 3 5 議案第 2 0 5 号 平成 2 4 年度大仙市国民健康保険事業特別会計補正予算 (第 2 号) (総務民生委員長報告・質疑・討論・表決)
- 第 3 6 議案第 2 0 6 号 平成 2 4 年度大仙市後期高齢者医療特別会計補正予算 (第 1 号) (総務民生委員長報告・質疑・討論・表決)
- 第 3 7 議案第 2 0 8 号 平成 2 4 年度大仙市学校給食事業特別会計補正予算 (第 3 号) (教育福祉委員長報告・質疑・討論・表決)
- 第 3 8 議案第 2 1 2 号 平成 2 4 年度市立大曲病院事業会計補正予算 (第 1 号)
(教育福祉委員長報告・質疑・討論・表決)
- 第 3 9 議案第 2 0 7 号 平成 2 4 年度大仙市土地区画整理事業特別会計補正予算 (第 1 号) (建設水道副委員長報告・質疑・討論・表決)

- 第 4 0 議案第 2 0 9 号 平成 2 4 年度大仙市簡易水道事業特別会計補正予算（第 3 号）（建設水道副委員長報告・質疑・討論・表決）
- 第 4 1 議案第 2 1 0 号 平成 2 4 年度大仙市公共下水道事業特別会計補正予算（第 1 号）（建設水道副委員長報告・質疑・討論・表決）
- 第 4 2 議案第 2 1 1 号 平成 2 4 年度大仙市農業集落排水事業特別会計補正予算（第 2 号）（建設水道副委員長報告・質疑・討論・表決）
- 第 4 3 議案第 2 1 3 号 平成 2 4 年度大仙市上水道事業会計補正予算（第 1 号）（建設水道副委員長報告・質疑・討論・表決）
- 第 4 4 陳情第 5 5 号 消費税増税に関することについて（総務民生委員長報告・質疑・討論・表決）
- 第 4 5 陳情第 5 6 号 年金引き下げの中止を求めることについて（総務民生委員長報告・質疑・討論・表決）
- 第 4 6 陳情第 5 7 号 地域経済と雇用対策強化のため地方財政の充実・強化を求めることについて（総務民生委員長報告・質疑・討論・表決）
- 第 4 7 陳情第 5 2 号 「教育費無償化」の前進をもとめることについて（教育福祉委員長報告・質疑・討論・表決）
- 第 4 8 陳情第 5 3 号 「ゆきとどいた教育」の前進をもとめることについて（教育福祉委員長報告・質疑・討論・表決）
- 第 4 9 陳情第 5 4 号 国に、生活保護基準の引き下げをしないことを求めることについて（教育福祉委員長報告・質疑・討論・表決）
- 第 5 0 意見書案第 3 3 号 年金引き下げの中止を求める意見書（質疑・討論・表決）
- 第 5 1 意見書案第 3 4 号 地域経済と雇用対策強化のため地方財政の充実・強化を求める意見書（質疑・討論・表決）
- 第 5 2 各委員会からの閉会中の継続審査及び所管事務調査の申し出について
- 第 5 3 議案第 2 1 6 号 大仙市議会政務調査費の交付に関する条例の一部を改正する条例の制定について（質疑・討論・表決）
- 第 5 4 議案第 2 1 7 号 大仙市議会議員の定数を定める条例の制定について（説明・質疑・討論・表決）

追加議事日程【第1号】

第1議案第218号 大曲庁舎・互助会館耐震補強及び改修工事請負契約の変更に
ついて

(説明・質疑・委員会付託・総務民生委員長報告・質疑・討論・表決)

出席議員(27人)

1番 藤田君雄	2番 佐藤文子	3番 後藤健
4番 佐藤隆盛	5番 藤井春雄	6番 杉沢千恵子
7番 茂木隆	8番 小山緑郎	9番 小松栄治
10番 富岡喜芳	11番 佐藤清吉	12番 石塚柏
13番 金谷道男	14番 大野忠夫	15番 渡邊秀俊
16番 高橋敏英	17番 児玉裕一	18番 佐藤芳雄
19番 大山利吉	20番	21番 高橋幸晴
22番 本間輝男	23番 橋本五郎	24番
25番 橋村誠	26番 佐藤孝次	27番 武田隆
28番 千葉健	30番 鎌田正	

欠席議員(1人)

29番 竹原弘治

遅刻議員(0人)

早退議員(0人)

説明のため出席した者

市長	栗林次美	副市長	久米正雄
副市長	老松博行	教育長	三浦憲一
代表監査委員	福原堅悦	総務部長	元吉峯夫
企画部長	小松辰巳	市民部長	山谷勝志
健康福祉部長	佐々木昭	農林商工部長	高橋豊幸
建設部長	田口隆志	上下水道部長	小松春一

病院事務長 伊藤 和保 教育指導部長 小笠原 晃
生涯学習部長 佐藤 裕康 総務課長 伊藤 義之

議会事務局職員出席者

局長 佐々木 誠治 次長 竹内 徳幸
主幹 堀江 孝明 主席主査 田口 美和子
主査 佐藤 和人

午前10時00分 開 議

○議長（鎌田 正） おはようございます。

これより本日の会議を行います。

欠席の届出は29番竹原弘治君であります。

○議長（鎌田 正） 本日の議事は、議事日程第4号をもって進めます。

○議長（鎌田 正） 日程第1、諸般の報告をいたします。

大仙市議会「市政懇談会」における市行政に対する要望・提言等に対する回答が市長から、また、平成24年度前期定期監査報告書が市監査委員から提出されましたので、別添お手元に配付のとおり報告いたします。

○議長（鎌田 正） 日程第2、報告第7号を議題といたします。

本件に関し、委員長の報告を求めます。総務民生常任委員長15番渡邊秀俊君。はい、15番。

○総務民生常任委員長（渡邊秀俊）【登壇】 おはようございます。

本会議第3日、当委員会に審査付託となりました事件について、去る12月12日、委員会を開催し、所管関係部長等の出席を求め、慎重審査いたしましたので、その経過及び結果について順次ご報告いたします。

はじめに、報告第7号「専決処分報告について（平成24年度大仙市一般会計補正予算（第5号））」についてであります。衆議院議員総選挙が12月4日に公示され、同月16日に投開票が実施されることに伴い、11月21日付けで専決処分したもので

あるとの説明を当局から受けました。

委員からの質疑及び討論はなく、採決の結果、出席委員の一致をもちまして、承認すべきものと決した次第であります。

以上で報告を終わります。

○議長（鎌田 正） ただいまの委員長報告に対する質疑に入ります。質疑はありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○議長（鎌田 正） 質疑なしと認めます。

これより討論に入ります。討論の通告がありませんので、討論なしと認めます。

これより報告第7号を採決いたします。本件に対する委員長報告は承認であります。本件は、委員長報告のとおり決することにご異議ありませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

○議長（鎌田 正） ご異議なしと認めます。よって本件は、承認することに決しました。

○議長（鎌田 正） 日程第3、議案第175号から日程第6、議案第190号までの4件を一括して議題といたします。

本4件に関し、委員長の報告を求めます。総務民生常任委員長15番渡邊秀俊君。はい、15番。

○総務民生常任委員長（渡邊秀俊）【登壇】 ご報告いたします。

はじめに、議案第175号「大仙市廃棄物の処理及び清掃に関する条例の一部を改正する条例の制定について」であります。当局の説明に対し、委員から「この基準は要綱など何らかに規定されていたものなのか。」との質疑があり、当局からは「廃棄物の処理及び清掃に関する法律に定められているものである。」との答弁がありました。

討論はなく、採決の結果、出席委員の一致をもちまして、本件は原案のとおり可決すべきものと決した次第であります。

次に、議案第188号「上淀川エコ対策コミュニティセンターの指定管理者の指定について」であります。当局の説明に対し、委員から「本議案を含め、町内会からの資料をそのまま議会に上げ、後で差し替えたり追加資料を出すなどということは本来あってはならないことであり、今後このようなことがないようにしなければならない。」との指摘があり、当局からは「今後このようなことがないように、資料を精査し提出しま

す。」との発言がありました。

討論はなく、採決の結果、出席委員の一致をもちまして、本件は原案のとおり可決すべきものと決した次第であります。

次に、議案第189号「太田北部墓園の指定管理者の指定について」及び議案第190号「太田東部墓園の指定管理者の指定について」の2件につきましては、当局の説明を了とし、質疑及び討論はなく、採決の結果、出席委員の一致をもちまして、本2件は原案のとおり可決すべきものと決した次第であります。

以上で報告を終わります。

○議長（鎌田 正） ただいまの委員長報告に対する質疑に入ります。質疑はありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○議長（鎌田 正） 質疑なしと認めます。

これより討論に入ります。討論の通告がありませんので、討論なしと認めます。

これより、ただいま議題となっております案件中、議案第175号及び議案第188号から議案第190号までの4件を一括して採決いたします。本4件に対する委員長報告は原案可決であります。本4件は、委員長報告のとおり決することにご異議ありませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

○議長（鎌田 正） ご異議なしと認めます。よって本4件は、原案のとおり可決されました。

○議長（鎌田 正） 日程第7、議案第176号から日程第10、議案第191号までの4件を一括して議題といたします。

本4件に関し、委員長の報告を求めます。企画産業常任委員長7番茂木隆君。はい、7番。

○企画産業常任委員長（茂木 隆） 【登壇】 ご報告いたします。

今期定例会、本会議第3日に当常任委員会に審査付託となりました事件につきまして、去る12月12日に委員会を開催し、所管関係部長等の出席を求めて慎重審査いたしましたので、その経過及び結果についてご報告いたします。

議案第176号「大仙市移動通信用鉄塔設置条例の一部を改正する条例の制定につい

て」、議案第177号「大仙市南外多目的集会施設設置条例の一部を改正する条例の制定について」、議案第178号「大仙市営土地改良事業の経費の賦課徴収に関する条例の一部を改正する条例の制定について」及び議案第191号「大仙市まほろば唐松中世の館等の指定管理者の指定について」の4件につきましては、当局の説明を了とし、質疑・討論はなく、採決の結果、出席委員の一致をもちまして、本4件は原案のとおり可決すべきものと決した次第であります。

以上で報告を終わります。

○議長（鎌田 正） ただいまの委員長報告に対する質疑に入ります。質疑はありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○議長（鎌田 正） 質疑なしと認めます。

これより討論に入ります。討論の通告がありませんので、討論なしと認めます。

これより議案第176号から議案第178号まで及び議案第191号の4件を一括して採決いたします。本4件に対する委員長報告は原案可決であります。本4件は、委員長報告のとおり決することにご異議ありませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

○議長（鎌田 正） ご異議なしと認めます。よって本4件は、原案のとおり可決されました。

○議長（鎌田 正） 日程第11、議案第179号から日程第22、議案第201号までの12件を一括して議題といたします。

本12件に関し、委員長の報告を求めます。教育福祉常任委員長19番大山利吉君。
はい、19番。

○教育福祉常任委員長（大山利吉） 【登壇】 改めまして、おはようございます。

本会議第3日に当委員会に審査付託となりました事件につきまして、去る12月12日に委員会を開催し、所管関係部長等の出席を求めまして慎重審査いたしましたので、その経過及び結果についてご報告いたします。

はじめに、議案第179号「大仙市立学校設置条例の一部を改正する条例の制定について」及び議案第187号「大仙市立保育所設置条例を廃止する条例の制定について」でございますが、当局の内容説明を了とし、質疑及び討論はなく、採決の結果、出席委

員の一致をもちまして、本2件は原案のとおり可決すべきものと決しました。

次に、議案第192号「刈和野地区コミュニティセンターの指定管理者の指定について」、議案第193号「大仙市小杉山地区生涯学習センターの指定管理者の指定について」及び議案第195号「玉川荘の指定管理者の指定について」から議案第201号「沢内高齢者健康増進ふれあい館の指定管理者の指定について」まででございますが、当局からの内容説明に対し、委員から「今回5年間の指定管理の契約であるが、将来的にはどのように考えているのか。」との質疑があり、当局からは「高齢者の生きがいの活動の場として提供しているが、次回の更新時期まで各地域への施設移譲や施設の存否を含め検討してまいりたい。」との答弁がありました。

その他、2、3の質疑がありましたが、当局説明を了とし、討論はなく、採決の結果、出席委員の一致をもちまして、本9件は原案のとおり可決すべきものと決しました。

次に、議案第194号「神岡中央公園屋内多目的施設等の指定管理者の指定について」でございますが、当局からの説明に対し、委員から「これまでの指定管理者から変更になった理由は何であったのか。」との質疑があり、それに対し当局からは「これまで指定管理を受けていた会社は、平成25年度以降の新たな自主事業の計画がないことや管理期間中に神岡地域で発生した水害時の対応について、雇用されていた地元社員の対応はあったが、会社としての対応が全くなかったという実態が説明されました。また、今回新たに選定されたNPO法人は、地元ということもあり、水害時に地域住民と一緒にボランティアとして活動したこと、さらに今後、事業展開によって地元を盛り上げていきたいという意欲も強いことから、平成25年度からの変更に至った。」との答弁がありました。

また、「地元でできた団体を指定管理者とすることは大変よいことであるが、この団体のこれまでの実績、会員の中で経験者がいるのか、その経歴について教えてほしい。また、有事の際の責任の所在はどうなっているのか。」との質疑があり、当局からは「スポーツ団体としての活動はあるが、施設の管理業務などの業績や経歴がないことから、これまでの指定管理と同じ地元の人を雇用する予定である。また、責任の所在については、市の公共施設を指定管理することから責任は市にあると考えている。施設管理運営等、市が責任を持って新たに選定されたNPO法人を支援してまいりたい。」との答弁がありました。

さらに委員からは「これまでのように事業をやっている会社とは違うので、なかなか

思ったように進まないと思われる。今後の行政の指導は大切だと思うが、行政の関わり方についてどのように考えているのか。」との質疑があり、これに対し当局からは「現在、市では地元の団体で地元施設を管理運営、そして地元住民とともに自主事業を展開していく総合型地域スポーツクラブの育成を図っている。その観点からも今回選定されたNPO法人には、事業効果を期待している。指定管理者の選考委員会から付された意見にあるように、業務に支障が生じないよう市の所管課が指導を行い、安定した経営を目指してまいりたい。」との答弁がありました。

その他、2、3の質疑がありましたが、当局説明を了とし、討論はなく、採決の結果、出席委員の一致をもちまして、本件は原案のとおり可決すべきものと決しました。

以上で報告を終わります。

○議長（鎌田 正） ただいまの委員長報告に対する質疑に入ります。質疑はありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○議長（鎌田 正） 質疑なしと認めます。

これより討論に入ります。討論の通告がありませんので、討論なしと認めます。

これより議案第179号、議案第187号及び議案第192号から議案第201号までの12件を一括して採決いたします。本12件に対する委員長報告は原案可決であります。本12件は、委員長報告のとおり決することにご異議ありませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

○議長（鎌田 正） ご異議なしと認めます。よって本12件は、原案のとおり可決されました。

○議長（鎌田 正） 日程第23、議案第180号から日程第32、議案第203号までの10件を一括して議題といたします。

本10件に関し、副委員長の報告を求めます。建設水道常任副委員長11番佐藤清吉君。はい、11番。

○建設水道常任副委員長（佐藤清吉）【登壇】 ご報告いたします。

今期定例会本会議第3日に当委員会に審査付託となりました事件につき、去る12月12日に委員会を開催し、所管関係部長等の出席を求めて慎重審査いたしましたので、その経過及び結果についてご報告いたします。

はじめに、議案第180号「大仙市営住宅条例の一部を改正する条例の制定について」、議案第182号「大仙市市道の構造の技術的基準等を定める条例の制定について」から議案第186号「大仙市公共下水道の構造の技術上の基準等に関する条例の制定について」まで、議案第214号「大仙市低炭素建築物新築等計画認定等手数料条例の制定について」及び議案第203号「平成24年度大仙市農業集落排水事業特別会計への繰入額の変更について」の8件については、当局からの説明内容を了とし、質疑・討論もなく、採決の結果、出席委員の一致をもって、原案のとおり可決すべきものと決した次第であります。

次に、議案第181号「大仙市営住宅等の整備基準を定める条例の制定について」は、当局からの内容説明に対し、委員から「入居者が退去した後のリフォームについて、入居者の負担と市の負担はどのようになっているのか。」との質疑があり、当局からは「3カ月分の敷金を超える部分で入居者の原因によるものや障子や畳などの消耗品は入居者負担となり、設備の劣化によって修繕するものは市の負担としている。」との答弁がありました。

さらに2、3の質問がありましたが、当局の説明を了とし、討論はなく、採決の結果、出席委員の一致をもちまして、本件は原案のとおり可決すべきものと決した次第であります。

次に、議案第202号「神岡中央公園等の指定管理者の指定について」は、当局からの説明内容に対し、委員から「大仙スポーツクラブが指定管理を受けようとした本来の目的は何か。また、笹倉公園のような遊具のあるところで事故が起きた場合、そのクラブは責任を負えるのか。」との質疑に対し、当局からは「地元の大仙スポーツクラブが管理することで、自分たちの目的であるスポーツを通じ地域の方々の活性化を図り、指定管理によって活動の拠点をつくり、地域住民のために頑張っていきたいということで申請した。また、事故等の責任については、保険に入るなど、きっちりと責任を果たしていく。」との答弁がありました。

さらに委員から「大仙スポーツクラブが指定管理者になった経緯で、専門の業者から指導をおおぎながら管理をしていくとあるが、その選考の過程を詳しく説明いただきたい。」との質疑に対し、当局からは「現在指定管理を受けている太平ビルサービスが再委託している業者等をそのまま継続して委託し作業をお願いしていくことで、大仙スポーツクラブが指定管理者になっても現在の管理が保たれるので大丈夫と判断され

た。」との答弁がありました。

さらに、2、3の質問があり、討論において「大仙スポーツクラブは資本金ゼロであり、指定管理業務のほとんどを再委託している丸投げの状態であり、ペーパーカンパニーと言わざるを得ない。最低限、公園は外すべきであり、安全・安心の確保から公園管理委託については反対する。」との発言がありました。

挙手採決の結果、賛成少数により、本件は否決すべきものと決した次第であります。報告を終わります。

○議長（鎌田 正） ただいまの報告に対する質疑に入ります。質疑はありますか。
（「なし」と呼ぶ者あり）

○議長（鎌田 正） 質疑なしと認めます。

これより討論に入ります。討論の通告がありませんので、討論なしと認めます。

これより、ただいま議題となっております案件中、議案第202号を採決いたします。この採決は起立によって行います。なお、起立者は人数の確認が終了するまで着席しないようお願いいたします。

本件に対する副委員長の報告は否決でありますので、原案について採決いたします。本件は原案のとおり可決することに賛成の諸君の起立を求めます。

（賛成者起立）

○議長（鎌田 正） ご着席ください。起立少数であります。よって本件は、否決されました。

次に、議案第180号から議案第186号まで、議案第214号及び議案第203号の9件を一括して採決いたします。本9件に対する副委員長報告は原案可決であります。本9件は、副委員長報告のとおり決することにご異議ありませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

○議長（鎌田 正） ご異議なしと認めます。よって本9件は、原案のとおり可決されました。

○議長（鎌田 正） 日程第33、議案第204号を議題といたします。

本件に関し、各委員長等の報告を求めます。はじめに総務民生常任委員長15番渡邊秀俊君。はい、15番。

○総務民生常任委員長（渡邊秀俊）【登壇】 ご報告いたします。

議案第204号「平成24年度大仙市一般会計補正予算（第6号）」のうち、当委員会に付託となりました所管する予算につきましては、当局からの補正内容の説明に対し、委員から「本来であれば一般会計から支出すべきと考えられる交流事業に対し、環境保全基金を充当するのはなぜか。また、本基金は特定の地域を限定して使うべきではないのではないか。」との質疑があり、当局からは「基金の使途が特定地域の住民の福祉向上に寄与するとあり、広く解釈し文化事業にも充当してきたが、今後の対応について関係部署とも協議し、検討させていただきたい。」との答弁がありました。

また、「乳幼児や子供の医療費が増えているが、その原因は何か。」との質問に対しては、「所得制限額を引き上げたこともあり、医療が受けやすい環境になったことが考えられる。」との答弁がありました。

また、歳入の環境保全基金繰入金について、説明資料にわかりにくい部分があることから、もっとわかりやすく表記するようにとの指摘がありました。

討論はなく、採決の結果、出席委員の一致をもちまして、本件は原案のとおり可決すべきものと決した次第であります。

以上で報告を終わります。

○議長（鎌田 正） ただいまの委員長報告に対する質疑に入ります。質疑はありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○議長（鎌田 正） 質疑なしと認めます。

次に、企画産業常任委員長7番茂木隆君。はい、7番。

○企画産業常任委員長（茂木 隆） 【登壇】 ご報告いたします。

同じく議案第204号のうち、当委員会に付託された所管する予算につきましては、当局からの補正内容の説明に対し、委員から「農地集積協力金事業費について、譲渡は対象になるか。」との質疑があり、当局からは「利用権設定等の貸し付けが対象となっており、譲渡は対象とならない。」との答弁がありました。

さらに、「現在は事業個々の資料により農家に対し説明や制度の周知を行っているが、農業関係補助事業は多種多様であり、農家の方々にとってはわかりにくいと思われる。補助事業を農業経営体別に分類し、制度の説明ができるような資料があれば、農業経営者もこれからの取り組みなどについて計画を立てやすいのではないか。」との要望があり、当局からは「予算編成を踏まえ、関係団体と協議しながら、わかりやすい資料の作

成に向け検討していきたい。」との報告がありました。

討論はなく、採決の結果、出席委員の一致をもちまして、本件は原案のとおり可決すべきものと決した次第であります。

以上で報告を終わります。

○議長（鎌田 正） ただいまの委員長報告に対する質疑に入ります。質疑はありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○議長（鎌田 正） 質疑なしと認めます。

次に、教育福祉常任委員長 19 番大山利吉君。はい、19 番。

○教育福祉常任委員長（大山利吉）【登壇】 ご報告いたします。

議案第 204 号のうち、当委員会に審査付託となりました所管する予算につきまして、当局からの内容説明に対し、委員から「予防接種において、これまで副反応と認定された事例はあったのか。」との質疑があり、それに対して当局からは「委託している医療機関からこれまで副反応があった報告は受けていない。」との答弁がありました。

その他、2、3の質疑がありましたが、当局の説明を了とし、討論はなく、採決の結果、出席委員の一致をもちまして、本件は原案のとおり可決すべきものと決しました。

以上で報告を終わります。

○議長（鎌田 正） ただいまの委員長報告に対する質疑に入ります。質疑はありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○議長（鎌田 正） 質疑なしと認めます。

次に、建設水道常任副委員長 11 番佐藤清吉君。はい、11 番。

○建設水道常任副委員長（佐藤清吉）【登壇】 ご報告いたします。

議案第 204 号のうち、当委員会に審査付託となりました所管する予算につきましては、当局からの補正内容の説明に対し、質疑・討論もなく、採決の結果、出席委員の一致をもって、原案のとおり可決すべきものと決した次第であります。

以上で報告を終わります。

○議長（鎌田 正） ただいまの副委員長報告に対する質疑に入ります。質疑はありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○議長（鎌田 正） 質疑なしと認めます。

これより討論に入ります。討論の通告がありませんので、討論なしと認めます。

これより議案第204号を採決いたします。本件に対する各委員長等の報告は原案可決であります。本件は、各委員長等の報告のとおり決することにご異議ありませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

○議長（鎌田 正） ご異議なしと認めます。よって本件は、原案のとおり可決されました。

○議長（鎌田 正） 日程第34、議案第215号を議題といたします。

本件に関し、各委員長の報告を求めます。はじめに総務民生常任委員長15番渡邊秀俊君。はい、15番。

○総務民生常任委員長（渡邊秀俊）【登壇】 ご報告いたします。

議案第215号「平成24年度大仙市一般会計補正予算（第7号）」のうち、当委員会に付託となりました所管する予算につきましては、当局からの補正内容の説明に対し、委員から「再生可能エネルギー等導入事業費について、そこへ行くまでの道路の確保や裏山が崩壊する危険もはらんでいるユメリアを防災拠点と考えるのはなぜか。また、事業実施にあたっては、地元の方々と十分検証し、説明責任を果たしていく必要があるのではないか。」との質疑があり、当局からは「日本海側で大規模地震が発生した場合などの防災拠点となる施設として、大仙市で最大の宿泊・収容能力があるユメリアを第1候補としたものであり、ある程度落ち着いた段階で避難していただくことを想定している。なお、道路の確保や裏山の危険箇所等については、今後、関係部署と協議してまいりたい。」との答弁がありました。

討論はなく、採決の結果、出席委員の一致をもちまして、本件は原案のとおり可決すべきものと決した次第であります。

以上で報告を終わります。

○議長（鎌田 正） ただいまの委員長報告に対する質疑に入ります。質疑はありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○議長（鎌田 正） 質疑なしと認めます。

次に、企画産業常任委員長7番茂木隆君。はい、7番。

○企画産業常任委員長（茂木 隆）【登壇】 ご報告いたします。

同じく議案第215号のうち、当委員会に付託された所管する予算につきましては、当局からの補正内容の説明に対し、委員から「ロケ地での花火打ち上げ費用はどういう内容か。」との質疑があり、当局からは「ロケ地で花火を打ち上げたところの撮影を企画したもので、現在は市内の数箇所をロケ候補地として制作会社に推薦している。」との答弁がありました。

また、「ロケ誘致とあわせ、放映後に想定される観光客の誘客に向けた受け入れ態勢の整備や隣接している市と連携した広域的な計画の検討が必要ではないか。」との質疑があり、当局からは「市と商工会議所とだいせん大曲フィルムコミッションが一体となり、ロケ地でのスタッフ支援、放映後のツアー企画等に取り組み、広域的な計画については県と一緒に進めてまいりたい。」との答弁がありました。

討論はなく、採決の結果、出席委員の一致をもちまして、本件は原案のとおり可決すべきものと決した次第であります。

以上で報告を終わります。

○議長（鎌田 正） ただいまの委員長報告に対する質疑に入ります。質疑はありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○議長（鎌田 正） 質疑なしと認めます。

これより討論に入ります。討論の通告がありませんので、討論なしと認めます。

これより議案第215号を採決いたします。本件に対する各委員長報告は原案可決であります。本件は、各委員長報告のとおり決することにご異議ありませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

○議長（鎌田 正） ご異議なしと認めます。よって本件は、原案のとおり可決されました。

○議長（鎌田 正） 日程第35、議案第205号及び日程第36、議案第206号の2件を一括して議題といたします。

本2件に関し、委員長の報告を求めます。総務民生常任委員長15番渡邊秀俊君。15番。

○総務民生常任委員長（渡邊秀俊）【登壇】 ご報告いたします。

はじめに、議案第205号「平成24年度大仙市国民健康保険事業特別会計補正予算（第2号）」につきましては、当局からの補正内容の説明に対し、委員から「ジェネリック医薬品に関し、処方する医師の協力など、大仙市内における医療機関のジェネリック対応はどのようになっているのか。」との質疑があり、当局からは「国保運営協議会の際にも協力を依頼しており、今後も会議等いろいろな場でジェネリック医薬品の促進に関し、協力をお願いしていきたい。」との答弁がありました。

討論はなく、採決の結果、出席委員の一致をもちまして、本件は原案のとおり可決すべきものと決した次第であります。

次に、議案第206号「平成24年度大仙市後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号）」につきましては、当局からの補正内容の説明を了とし、質疑及び討論はなく、採決の結果、出席委員の一致をもちまして、本件は原案のとおり可決すべきものと決した次第であります。

以上で報告を終わります。

○議長（鎌田 正） ただいまの委員長報告に対する質疑に入ります。質疑はありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○議長（鎌田 正） 質疑なしと認めます。

これより討論に入ります。討論の通告がありませんので、討論なしと認めます。

これより議案第205号及び議案第206号の2件を一括して採決いたします。本2件に対する委員長報告は原案可決であります。本2件は、委員長報告のとおり決することにご異議ありませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

○議長（鎌田 正） ご異議なしと認めます。よって本2件は、原案のとおり可決されました。

○議長（鎌田 正） 日程第37、議案第208号及び日程第38、議案第212号の2件を一括して議題といたします。

本2件に関し、委員長の報告を求めます。教育福祉常任委員長19番大山利吉君。はい、19番。

○教育福祉常任委員長（大山利吉）【登壇】 ご報告いたします。

議案第208号「平成24年度大仙市学校給食事業特別会計補正予算（第3号）」及び議案第212号「平成24年度市立大曲病院事業会計補正予算（第1号）」についてでございますが、当局の内容説明を了とし、質疑及び討論はなく、採決の結果、出席委員の一致をもちまして、本2件は原案のとおり可決すべきものと決しました。

以上で報告を終わります。

○議長（鎌田 正） ただいまの委員長報告に対する質疑に入ります。質疑はありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○議長（鎌田 正） 質疑なしと認めます。

これより討論に入ります。討論の通告がありませんので、討論なしと認めます。

これより議案第208号及び議案第212号の2件を一括して採決いたします。本2件に対する委員長報告は原案可決であります。本2件は、委員長報告のとおり決することにご異議ありませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

○議長（鎌田 正） ご異議なしと認めます。よって本2件は、原案のとおり可決されました。

○議長（鎌田 正） 日程第39、議案第207号から日程第43、議案第213号までの5件を一括して議題といたします。

本5件に関し、副委員長の報告を求めます。建設水道常任副委員長11番佐藤清吉君。
はい、11番。

○建設水道常任副委員長（佐藤清吉） 【登壇】 ご報告いたします。

議案第207号「平成24年度大仙市土地区画整理事業特別会計補正予算（第1号）」、議案第209号「平成24年度大仙市簡易水道事業特別会計補正予算（第3号）」から議案第211号「平成24年度大仙市農業集落排水事業特別会計補正予算（第2号）」まで及び議案第213号「大仙市上水道事業会計補正予算（第1号）」の5件については、当局からの内容説明に対し、質疑・討論もなく、採決の結果、出席委員の一致をもって、原案のとおり可決すべきものと決した次第であります。

報告を終わります。

○議長（鎌田 正） ただいまの副委員長報告に対する質疑に入ります。質疑はありま

せんか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

○議長(鎌田 正) 質疑なしと認めます。

これより討論に入ります。討論の通告がありませんので、討論なしと認めます。

これより議案第207号、議案第209号から議案第211号まで及び議案第213号の5件を一括して採決いたします。本5件に対する副委員長の報告は原案可決であります。本5件は、副委員長の報告のとおり決することにご異議ありませんか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

○議長(鎌田 正) ご異議なしと認めます。よって本5件は、原案のとおり可決されました。

○議長(鎌田 正) 日程第44、陳情第55号から日程第46、陳情第57号までの3件を一括して議題といたします。

本3件に関し、委員長の報告を求めます。総務民生常任委員長15番渡邊秀俊君。はい、15番。

○総務民生常任委員長(渡邊秀俊) 【登壇】 ご報告いたします。

はじめに、陳情第55号「消費税増税に関することについて」であります。消費税増税はデフレ不況の中、景気をさらに冷え込ませることにつながることから、本陳情の願意は妥当であり採択すべきとの意見と、国会で決まったことでもあり、また、国民の生活を支える財源に不足を来している現状を鑑みた場合、不採択にすべきであるとの意見が出され、採決の結果、採択することに賛成する委員の少数により、不採択とすべきものと決した次第であります。

次に、陳情第56号「年金引き下げの中止を求めることについて」であります。引き下げない場合、今の若い世代に負担がかかることになることから不採択とすべきであるとの意見と、願意妥当であり採択すべきであるとの意見が出され、採決の結果、採択することに賛成する委員の多数により、採択すべきものと決した次第であります。

次に、陳情第57号「地域経済と雇用対策強化のため地方財政の充実・強化を求めることについて」であります。願意が妥当であり採択すべきとの意見が出され、採決の結果、出席委員の一致をもって、採択すべきものと決した次第であります。

以上で報告を終わります。

○議長（鎌田 正） ただいまの委員長報告に対する質疑に入ります。質疑はありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○議長（鎌田 正） 質疑なしと認めます。

これより討論に入ります。討論はありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○議長（鎌田 正） 討論なしと認めます。

これより、ただいま議題となっております案件中、陳情第55号を採決いたします。この採決は起立をもって行います。本件に対する委員長報告は不採択であります。本件は採択することに賛成の諸君の起立を求めます。

（賛成者起立）

○議長（鎌田 正） 着席ください。起立少数であります。よって本件は、不採択と決しました。

次に、陳情第56号及び陳情第57号の2件を一括して採決いたします。本2件に対する委員長報告は採択であります。本2件は、委員長報告のとおり決することにご異議ありませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

○議長（鎌田 正） ご異議なしと認めます。よって本2件は、採択することに決しました。

○議長（鎌田 正） 日程第47、陳情第52号から日程第49、陳情第54号までの3件を一括して議題といたします。

本3件に関し、委員長の報告を求めます。教育福祉常任委員長19番大山利吉君。はい、19番。

○教育福祉常任委員長（大山利吉） 【登壇】 ご報告いたします。

陳情第52号「教育費無償化」の前進をもとめることについて」でございますが、当局から参考意見を求め、慎重審査いたしました。

委員から「現在、高等学校の教育費の無償化を行っており、維持や拡充を進める前に他の政策で救済していくべきではないか。」という意見がありました。

採決の結果、出席委員の一致をもちまして、本件は不採択とすべきものと決しました。

次に、陳情第53号「「ゆきとどいた教育」の前進をもとめることについて」ですが、当局から参考意見を求め、慎重審査いたしました。

委員から「小学校、中学校、高等学校まで30人学級を実現する以前に、国が現在進めている35人学級を推進していくべきではないか。」との意見がありました。

採決の結果、出席委員の一致をもちまして、本件は不採択とすべきものと決しました。

次に、陳情第54号「国に、生活保護基準の引き下げをしないことを求めることについて」ですが、当局から参考意見を求め、慎重審査いたしました。

委員から「生活保護世帯の生活扶助費や住宅扶助費等の受給額が老齢基礎年金受給者の額を上回るという逆転状態にあるため、今後、関連する制度の状況を見極める必要があるのではないか。」という意見がありました。

採決の結果、出席委員の一致をもちまして、本件は不採択すべきものと決しました。

以上で報告を終わります。

○議長（鎌田 正） ただいまの委員長報告に対する質疑に入ります。質疑はありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○議長（鎌田 正） 質疑なしと認めます。

これより討論に入ります。討論はありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○議長（鎌田 正） 討論なしと認めます。

これより、ただいま議題となっております案件中、陳情第52号を採決いたします。

この採決は起立をもって行います。本件に対する委員長報告は不採択であります。本件は採択することに賛成の諸君の起立を求めます。

（賛成者起立）

○議長（鎌田 正） 着席ください。起立少数であります。よって本件は、不採択と決しました。

次に、ただいま議題となっております案件中、陳情第53号を採決いたします。この採決は起立をもって行います。本件に対する委員長報告は不採択であります。本件は採択することに賛成の諸君の起立を求めます。

（賛成者起立）

○議長（鎌田 正） 着席願います。起立少数であります。よって本件は、不採択と決し

ました。

次に、ただいま議題となっております案件中、陳情第54号を採決いたします。この採決は起立をもって行います。本件に対する委員長報告は不採択であります。本件は採択することに賛成の諸君の起立を求めます。

(賛成者起立)

○議長(鎌田 正) 着席願います。起立少数であります。よって本件は、不採択と決しました。

○議長(鎌田 正) 日程第50、意見書案第33号及び日程第51、意見書案第34号の2件を一括して議題といたします。

意見書案第33号及び意見書案第34号の2件は、総務民生常任委員長から提出されております。

お諮りいたします。意見書案第33号及び意見書案第34号の2件については、会議規則第37条第3項の規定により、提案理由の説明を省略いたしたいと思っております。これにご異議ありませんか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

○議長(鎌田 正) ご異議なしと認めます。よって本2件については、提案理由の説明は省略することに決しました。

これより質疑に入ります。質疑はありますか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

○議長(鎌田 正) 質疑なしと認めます。

ただいま議題となっております2件については、会議規則第37条第2項の規定により、委員会には付託いたしません。

これより討論に入ります。討論はありますか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

○議長(鎌田 正) 討論なしと認めます。

これより意見書案第33号及び意見書案第34号の2件を一括して採決いたします。本2件は原案のとおり可決することにご異議ありませんか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

○議長(鎌田 正) ご異議なしと認めます。よって本2件は、原案のとおり可決されま

した。

お諮りいたします。ただいま可決されました意見書案第33号及び意見書案第34号の2件については、その条項、字句、数字、その他の整理を要するものにつきましては、その整理を議長に委任されたいと思います。これにご異議ありませんか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

○議長(鎌田 正) ご異議なしと認めます。よって、条項、字句、数字、その他の整理は議長に委任することに決しました。

○議長(鎌田 正) 日程第52、各委員会からの閉会中の継続審査及び所管事務調査の申し出についてを議題といたします。

各委員長等から審査及び調査中の事件につき、会議規則第103条の規定により、お手元に配付いたしましたとおり、閉会中の継続審査及び継続調査の申し出がありました。

お諮りいたします。各委員長等からの申し出のとおり、閉会中の継続審査及び継続調査とすることにご異議ありませんか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

○議長(鎌田 正) ご異議なしと認めます。よって、各委員長等からの申し出のとおり決しました。

○議長(鎌田 正) 次に、日程第53、議案第216号を議題といたします。

本件は、議会運営委員長小松栄治君から提出されております。

お諮りいたします。議案第216号については、会議規則第37条第3項の規定により、提案理由の説明を省略いたしたいと思います。これにご異議ありませんか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

○議長(鎌田 正) ご異議なしと認めます。よって本件については、提案理由の説明は省略することに決しました。

これより質疑に入ります。質疑はありませんか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

○議長(鎌田 正) 質疑なしと認めます。

本件については、会議規則第37条第2項の規定により、委員会には付託いたしません。

これより討論を行います。討論はありませんか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

○議長(鎌田 正) 討論なしと認めます。

これより議案第216号を採決いたします。本件は原案のとおり可決することにご異議ありませんか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

○議長(鎌田 正) ご異議なしと認めます。よって本件は、原案のとおり可決されました。

○議長(鎌田 正) 日程第54、議案第217号を議題といたします。

本件は23番橋本五郎君から提出されております。

提案理由の説明を求めます。23番橋本五郎君。はい、23番。

○23番(橋本五郎) 【登壇】 議案第217号、大仙市議会議員の定数を定める条例の制定についての提案理由を説明させていただきます。

全国的に経済不況や雇用状況の悪化、そして人口減などにより地方自治体を取り巻く財政状況は年々厳しさを増しております。

市町村議会では、自らの判断により議員定数を削減する傾向が顕著にあらわれております。

また、本市においては、合併時9万6,000人を超えていた人口が、平成23年8月には9万人を割り込み、今後も減少を続けることが予想されております。

このような中、議員定数検討委員会では、県内各市や東北各県及び新潟県の類似団体と人口、面積、議員報酬及び議員定数等を比較するとともに、市内10カ所で実施した市政懇談会での市民の声を真摯に受け止め、議員定数の検討を重ねてまいりました。

また、議員全員協議会では、3度にわたり中間報告をし、議員各位のご意見等も承っております。

その結果、市民の多様な要望を吸収し行政に反映させることはむろんでありますが、議会・委員会等の活性化と充実を図りつつ、将来の予測と展望を考慮した結果、議会自らが定数の削減を図る必要があるとの結論に至ったものであります。

現在の議員定数は、市町村の配置分合により設置する市の議会の議員の定数に関する協議書によって定められております。地方自治法第91条の第1項の規定に基づき、本

市議会の議員の定数を現行の30人から2人減の28人とする本条例案の制定を提案するものであります。

なお、この条例は公布の日から施行し、同日以後にその期日を告示される一般選挙から適用するものであります。

何卒、本提案の趣旨をご理解いただき、議員各位のご賛同を賜りますようお願い申し上げます。

○議長（鎌田 正） これより質疑に入ります。質疑はありますか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○議長（鎌田 正） 質疑なしと認めます。

お諮りいたします。本件は、会議規則第37条第3項の規定により、委員会付託を省略いたしたいと思っております。これにご異議ありませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

○議長（鎌田 正） ご異議なしと認めます。よって本件は、委員会付託を省略することに決しました。

これより討論を行います。討論はありますか。はい、2番佐藤文子さん。

○2番（佐藤文子）【登壇】 私は、議案第217号、大仙市議会議員の定数を定める条例について、反対討論を行います。

本案は、議員定数を30人から28人に2名減ずる議員定数削減案であります。

議員定数削減は、地域住民の意思を代表する機能、条例制定や予算議決などの自治立法機能、また、行政執行機関への批判と監視機能という議会の基本的な機能の低下につながるものであります。

大仙市は市内全域に集落が散在し、過疎化や高齢化が進み、高齢世帯は増え続けております。また、依然として低下、悪化の状態から抜け出せない経済情勢を背景に起こる諸問題も多岐にわたっております。さらに、国による生活に関わる制度改変に伴って、市民生活への影響は大きくあり、頻発する自然災害への対応なども複雑さが増しております。

市民の安全・安心な暮らしと福祉向上のために、議員の活動と議会の役割は非常に大きくなっているわけであります。

議会機能は、むしろ強化されることが望ましいのです。

こうしたことから、議員を削減することは、議会の役割、機能を低下させるものとし

て賛成できません。

また、議案の提案理由に述べております行財政の厳しさ、この点に関しましては、現在、議会費は職員分を除いて全予算の0.66%にすぎません。2名減じたからといって、その削減効果は微々たるものであります。

しかし、それ以上に住民の民意反映というこの住民の利益を守るための民意反映の縮小というふうなことにつながり、住民にとっては不利益の方が大きくなるというふうなことであります。

以上述べて、議員自らが議会機能低下をもたらすこの削減案には反対するものです。

以上で終わります。

○議長（鎌田 正） ほかに討論はありませんか。はい、11番佐藤清吉君。

○11番（佐藤清吉）【登壇】 私は、大仙市議会議員の定数を定める条例の制定について、賛成の立場で討論をさせていただきます。

本市議会は、昨年9月定例会において、議会の最高規範としての議会基本条例を全会一致で可決、制定し、同年10月1日に施行いたしました。

この議会基本条例の第20条には、議員定数に関する条文が記載されておりますので、一部朗読をさせていただきます。

第20条第1項「議員定数の改正に当たっては、行財政改革の視点だけではなく、市政の現状と課題及び将来の予測と展望を十分に考慮するとともに、市民の意見を参考に検討するものとする。」とあります。

また、同条第2項には「議員定数は人口、面積、財政力及び事業課題等を比較検討し、決定するものとする。」とあり、さらに第3項では「議会は議員定数の改正についての検討を、一般選挙を経た任期開始後、できるだけ速やかに行うものとする。」とあります。

本条例案は、地方自治体を取り巻く厳しい行財政状況を考慮するとともに、県内各市及び東北各県の類似団体との比較や市政懇談会における市民の声から導き出されたものであり、議会の最高規範である議会基本条例の趣旨に沿った結論であると言えます。

市民の多様な要望を吸収し行政に反映させることはもちろんであります。議会・委員会等の活性化と充実を図りつつ、将来の予測と展望を考慮した場合、議員の定数を現行の30人から2人減の28人とする本条例案の制定は、極めて妥当な判断であると考えられます。

以上、本議案に対し、賛成の立場で討論をさせていただきました。ありがとうございました。

○議長（鎌田 正） ほかに討論はありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○議長（鎌田 正） これにて討論を終結いたします。

これより議案第217号について、起立をもって採決いたします。本件は原案のとおり可決することに賛成の諸君の起立を求めます。

（賛成者起立）

○議長（鎌田 正） 着席願います。起立多数であります。よって本件は、原案のとおり可決されました。

○議長（鎌田 正） この際、暫時休憩します。

なお、本会議の再開時刻は、追ってご連絡申し上げます。

午前11時30分 休 憩

.....

午前11時35分 再 開

○議長（鎌田 正） 休憩前に引き続き、会議を開きます。

○議長（鎌田 正） お諮りいたします。ただいま市長から議案第218号が提出されました。これを日程に追加し、議題とすることにご異議ありませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

○議長（鎌田 正） ご異議なしと認めます。よって、議案第218号を追加日程第1とし日程に追加し、議題とすることに決定いたしました。

○議長（鎌田 正） 追加日程第1、議案第218号を議題といたします。

提案理由の説明を求めます。元吉総務部長。

○総務部長（元吉峯夫）【登壇】 資料No. 6の追加の議案書をご覧ください。

1ページになります。

議案第218号、大曲庁舎・互助会館耐震補強及び改修工事請負契約の変更について、ご説明を申し上げます。

当該工事につきましては、平成24年第3回臨時会において契約締結に関する議決をいただいておりますが、工事を施工いたしましたところ、補強する柱の一部に粗骨材の周りにモルタルが行き渡らずに十分な強度が得られない部分、いわゆる豆板があることが判明し、この豆板を除去した上で補強工事を実施する必要が生じております。

このため、契約金額を2,232万5,100円増額し、3億3,270万5,100円に変更することについて、議会の議決をお願いするものであります。

なお、これに伴い、工期も2カ月延長し、平成25年8月30日までとしております。

以上、ご説明申し上げましたが、よろしくご審議の上、ご承認賜りますようお願いを申し上げます。

○議長（鎌田 正） 説明が終了いたしました。

これより質疑に入ります。質疑はありますか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○議長（鎌田 正） 質疑なしと認めます。

ただいま議題となっております議案第218号は、総務民生常任委員会に付託いたします。

○議長（鎌田 正） この際、常任委員会審査のため、暫時休憩いたします。

再開時刻は後程ご連絡申し上げます。

午前11時47分 休 憩

午後 2時09分 再 開

○議長（鎌田 正） 休憩前に引き続き、会議を開きます。

○議長（鎌田 正） 追加日程第1、議案第218号を再び議題といたします。

本件に関し、委員長の報告を求めます。総務民生常任委員長15番渡邊秀俊君。はい、15番。

○総務民生常任委員長（渡邊秀俊）【登壇】 ご報告いたします。

本日、本会議において追加提案され、当委員会に審査付託されました議案第218号「大曲庁舎・互助会館耐震補強及び改修工事請負契約の変更について」、本会議休憩中に委員会を開催し、総務部長及び関係職員の出席を求め審査いたしましたので、その経

過及び結果についてご報告いたします。

はじめに、当局から議案内容の説明があり、それに対し委員から「2, 200万円余り増額となっているが、これには工事費以外に設計費なども含んでいるのか。その内訳はどうなっているのか。」との質疑が出され、当局からは「増額分の内訳は、耐震補強工事、外壁・建具・その他の改修部分であり、設計費は含まれていない。なお、変更設計額と元設計額の差額2, 278万9, 200円に請負比率97.97%を乗じた額2, 232万5, 100円の増額をお願いするものである。」との答弁がありました。

また、「工期が2カ月遅れるということは、市民に迷惑をかけることになるが、工事は冬期間も行うのか。」との質疑に対しては、「原則冬期間は工事をしないことになっているが、これ以上市民に迷惑をかけることはできないので、冬期間も実施する。」との答弁がありました。

その他、2、3の質疑がありましたが、討論はなく、採決の結果、出席委員の一致をもちまして、本件は同意すべきものと決した次第であります。

以上で報告を終わります。

○議長（鎌田 正） ただいまの委員長報告に対する質疑に入ります。質疑はありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○議長（鎌田 正） 質疑なしと認めます。

これより討論を行います。討論はありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○議長（鎌田 正） 討論なしと認めます。

これより議案第218号を採決いたします。本件に対する委員長報告は同意であります。本件は、委員長報告のとおり決することにご異議ありませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

○議長（鎌田 正） ご異議なしと認めます。よって本件は、同意することに決しました。

○議長（鎌田 正） 以上で本定例会の日程は全部終了いたしました。

これにて平成24年第4回大仙市議会定例会を閉会いたします。

長期間にわたりまして大変ご苦勞様でございました。

午後 2時13分 閉 会

地方自治法第123条第2項の規定によりここに署名する。

平成 年 月 日

大仙市議会議長

議 員

議 員

議 員